

2017年7月24日

## 国連の副秘書長が武漢に訪問

### 都市公共スペース改善プロジェクトをスタート

7月24日の午前、国連の副秘書長、国連人間居住計画(UN-HABITAT)事務局長ジョアン・クロス氏は武漢で「中国都市公衆スペース改善プロジェクトをスタートする」と発表し、全国各都市の代表者が始動式典に参加した。

始動式では、ジョアン・クロス氏が主に「新都市議題」について報告したほか、中国都市公共スペース改善育成基地開業について話した。都市公共スペース改善の話題をめぐって、国連の職員や専門家など、各代表者による対話が行われた。

国連はいままで「都市が人々の生活をより幸せにする」という目標の実現に努力し、政策の策定、モデルプロジェクト、などの方法を利用し、都市の公衆スペースを改善させる。去年、武漢の東湖プロジェクトは国連人間居住計画部、中国改善都市の公衆スペースのモデルプロジェクトに選定され、去年10月に開催した第3回グローバル人間居住計画会議で国際的に宣伝された。



ジョアン・クロス氏は中国都市公衆スペース改善プロジェクトをスタート会議でのスピーチ

2017年7月25日

## 武漢航空は4つの大陸へ直航

### 国際線航空運送人数は中部地域1位に

武漢は国際線ブームを迎えている。すでに国際線58線、武漢の周辺エリアはもちろん、ロシア、フランス、イタリアの直行便、アメリカ、中東エリアをカバーする国際線ネットワークを結成した。特にパリ、サンフランシスコ、モスクワ、ローマ、ドバイ、シドニーへの国際主要路線は運営が安定している。武漢はすでに中部地域唯一の4大陸は直行都市になり、かつての乗客不足の問題も周辺エリアからの集客数が年々上がることにより解決され、各便の利用者数は80%の席を占め、うち日本、タイなどの便は特に人気で予約が困難となっている。

国際線は外資誘致の「神器」であり、武漢の経済発展の大きな活躍を注入している。2012年パリへの直行便が開通してから、フランスの武漢での投資企業は90社から140社まで増加し、毎年10社ほど増加という。